



Heart News



2026年4月1日、青藍会グループでは13名(介護福祉士、理学療法士、作業療法士、保育士、児童指導員、総合職)の新卒新入職員を迎えてスタートしました。13名のうち7名は、青藍会の奨学生として介護福祉士の資格を取得しました。仲間とともに切磋琢磨しながら支え合い、成長していきます。よろしくお願いいたします。

INDEX

- P2 代表挨拶
- P3 20年永年勤続表彰者 / 10年永年勤続表彰者
- P4~5 永年勤続表彰者
- P6~7 2025年度青藍会グループの取り組み
- P8~9 飲み込みサポートチーム
- P10~11 青藍会グループ 医師紹介
- P12 外来・訪問診療医師予定表

理念：私たちは、医療・保健・福祉の分野で、地域の方々の生活を生涯にわたって支えることに最善を尽くし、そして、そこで働いていることに誇りをもちます。

青藍会お客様サポートセンター

ハートコール

0120(2)81056

(受付) 8:30~18:00(日・祝・GW・お盆・年末年始などの所定の定休日を除く)



青藍会公式サイト



働くスタッフの声



青藍会LINE公式アカウント



青藍会Facebook

※コンプライアンス室：この広報誌の写真は、ご本人に承諾を得た上で掲載しております。翻訳・引用・要約・開示・配布・書籍等への転載等を禁止します。

青藍会グループ代表挨拶

第17回青藍会グループ成果発表会



青藍会グループ 代表 阿武 義人

本日ここに、第17回青藍会グループ成果発表会を開催するにあたり、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。

2025年は、災害の激甚化、異常気象の恒常化、国際情勢の緊迫化・不安定化が見られました。ヘルスケアの分野では、諸物価高騰や人材難の中で、地域の医療機関や介護事業者の苦境が示すように、事業環境は厳しさを増しています。

その中で、青藍会グループは10カ年計画に基づき、山口、世田谷区、福岡市の3拠点体制を展開していきます。激変する外部環境に対応すべく、それぞれの地域ニーズに合わせたサービス拡大やサービス形態の変更、統廃合、新規事業をスピード感をもって確実に実施していきます。また、DXによる業務効率の向上、ひいては職員1人当たりの生産性向上による利用者の豊かさ、職員の豊かさの実現を目指し、地域の医療・福祉の一翼を担う組織として、地域の方々の生活を支え続けていきます。

第17回となる今回の青藍会グループ成果発表会ですが、永年勤続表彰では、勤続20年が10名、勤続10年が34名と、例年通り多数の永年勤続者を表彰します。多くの職員が青藍会グループに定着し、誇りとやりがいを持って業務に取り組んでいる証左だと感謝しています。

取組み発表では、日頃の業務の中で、より高い成果を上げる取組みを発表しています。青藍会グループの先進的な取組みを知るにより、職員間の共通理解を深めて連携体制を構築し、更には地域社会への貢献に繋げて頂きたいと思います。

最後になりますが、成果発表会を開催するに当たり、発表者及び運営等に尽力して頂いた実行委員の方々のご苦勞に感謝し、挨拶といたします。

2026年3月14日



20年永年勤続表彰代表者挨拶

経営戦略本部第2事業部 あんしんホーム・農園・老人ホーム紹介 部長
第4事業部はあとライン 部長



本日は、永年勤続20年の表彰をいただき、誠にありがとうございます。表彰者を代表し、一言ご挨拶させていただきます。

私は大阪の看護学校を卒業後、関西の病院で勤務しておりましたが、31歳の時に、山口にUターンしました。引っ越し後、体調を崩して偶然受診したのが「あんの循環器内科」でした。その際、外来看護師の方の対応に、同じ看護師として衝撃を受けるほど感動したことを、今でも鮮明に覚えています。患者に寄り添い、丁寧に温かいケアをされる姿を目の当たりにし、「ここでこの人たちと一緒に働きたい」と強く思ったことが、私の転職の大きなきっかけとなりました。

その数年後、通所リハビリの看護師として青藍会に入職し、利用者様の生活の質を支える仕事に携わることができました。さらに、育児休職中に取得したケアマネジャーの資格を活かして居宅介護支援事業所に異動し、より幅広い視点から地域の皆さまの支援に関わることができたことは、私にとって大きな成長の機会となりました。

また、子育てと仕事の両立は決して容易なことではありませんでしたが、職場の理解と協力のもと、働き方を柔軟に調整しながら無理なく続けることができました。子どもの成長に合わせて勤務時間や業務内容を工夫し、家庭と仕事のバランスを保つことで、どちらにも全力で向き合うことができたと感じております。

この20年間、様々な経験を積み、多くの勉強の機会をいただいたことで、専門的な知識や技術だけでなく、人としても大きく成長することができました。困難な状況に直面した時も、仲間や上司の支えがあったからこそ乗り越えられたと深く感謝しております。

これからも、初心を忘れず、地域の皆さまに寄り添いながら、且つ世の中の変化に沿った、より良い医療・介護・福祉サービスの提供に努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

本日は誠にありがとうございました。

10年永年勤続表彰代表者挨拶

はあと f + j 中央 事業所長



皆さま、本日はお忙しい中、このような機会を設けていただき、誠にありがとうございます。

勤続10年の表彰者を代表して、ご挨拶させていただきます。

思い返してみれば、この10年間はあっという間でありながらも非常に濃密で貴重な経験をさせていただいた10年間でした。

最初に配属されたのが、吉敷のデイケアセンターでした。右も左もわからない私を当時の上司や先輩方、そして利用者の皆様が暖かい目で見守ってくださり、社会人としての基礎的なことを教えていただきました。次に、はあとサポートへの異動で東京の成城へ。ここで初めて管理職を任せていただき、慣れない土地や業務に戸惑いながらも、目標達成に向けて努力すること・人を動かすことの大切さを学びました。山口に戻ってからは、本部にてソーシャルファンディング課や教育課、100周年事業など多くの業務に関わらせていただき、進捗管理の重要性やDX化に伴う業務改善について学びました。そして、現在は「はあと f + j 中央」にて、児童・保護者の皆様の思いやニーズに寄り添うことの大切さを改めて日々実感しております。

この10年間どのような仕事をするときでも常に念頭に置いていたことは、「前向きで諦めない姿勢を持つこと」です。どの部署においても初めての経験やわからないことなど、不安なことは数えきれないほどありましたが、「まずはやってみよう」と気持ちを切り替えて仕事に臨み、周りの方々に助けていただきながらここまで歩んでくることができました。これから先も前向きで諦めない姿勢を崩さず、多くの事に挑戦していきたいと思っております。そして、この10年間で学んだこと・培ったことをさらに深めていくとともに、部下や後輩の支えとなれるようこれからも精励恪勤してまいります。

最後になりますが、入職してから今日に至るまで、多くの方々に支えていただきましたことを、心より感謝申し上げます。私自身、まだまだ未熟で学ぶべきことの多い身ではございますが、皆様には引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

永年勤続表彰者

(入職順、2026年4月1日現在の所属)

20年永年勤続表彰者(10名)



ハートホーム小郡
小規模多機能型居宅介護
介護士



老人保健施設ハートホーム山口
清掃



経営戦略本部第2事業部
あんしんホーム・農園・老人ホーム紹介部長
第4事業部はあとライン
部長



青藍会在宅医療支援センター山口
在宅マネジメントセンター
事業所長
ケアマネジャー



青藍会在宅医療支援センター中央
看護小規模多機能型居宅介護
介護支援専門員



老人保健施設ハートホーム山口
介護士



ハートホーム新山口あんしんホーム
清掃



青藍会在宅医療支援センター中央
看護小規模多機能型居宅介護
事業所長
社会福祉士



青藍会在宅医療支援センター中央
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護士



はあと保育園吉敷
保育士



10年永年勤続表彰者(34名)



ハートホーム平川
支店長
ケアマネジャー



青藍会在宅医療支援センター中央
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護士



青藍会在宅医療支援センター山口
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護士



青藍会在宅医療支援センター中央
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護士



あんの循環器・総合クリニック
清掃



はあとこども園中央
保育士



財務部
請求センター



老人保健施設ハートホーム山口
看護師



ウェルネスセンター中央
デイトレセンター
介護士



ハートクリニック南山口デイケア
作業療法士



ハートハウス吉敷脳活性リハビリ
介護士



ハートホーム小郡脳活性リハビリ
介護士



老人保健施設ハートホーム山口
看護師



ハートクリニック南山口
看護師



ハートクリニック南山口デイケア
介護助手



はあとf+j小郡南
保育士



ハートホーム南山口ショートステイ
介護士



ハートこどもクリニック新山口
事務



はあとm+M新山口
保育士



ハートホーム南山口ショートステイ
介護士



はあと保育園成城
喜多見分園
保育士



ハートホーム山口デイケア
介護士



特別養護老人ホーム
ハートホーム宮野
介護士



青藍会在宅医療支援センター新山口
指定居宅介護支援事業所
事業所長
主任ケアマネジャー



青藍会在宅医療支援センター中央
定期巡回・随時対応型訪問介護看護
介護士



ハートクリニック南山口
看護師



青藍会在宅医療支援センター新山口
訪問看護ステーション
看護師



ハートホーム南山口
脳活性リハビリ
課長代理
理学療法士



はあと保育園吉敷
保育士



ハートクリニック南山口
事務



はあとf+j中央
事業所長
職業指導員



おごおり薬局
薬剤師



おごおり薬局
薬剤師



ハートホーム小郡
支店長
介護士



2025年度青藍会グループの取り組み

2025.4.1
あんの循環器・総合クリニックに
名称変更



4月



2025.4.1
あんの循環器・総合クリニック
小野副院長着任



5月

2025.5.13
はあと保育園新山口 OYA 塾
「宝石せっけん・シャボン玉イベント」

2025.6.1
Well Being プロジェクトスタート

6月



2025.6.26
新卒新入職員ベスト返還式



7月

2025.7.11 キャリア開発課
宮野小学校福祉体験学習



2025.7.24 市民総踊り

2025.7.25
ウェルネスセンター中央
デイトレセンター
栄養教室「懐石料理」



8月

2025.8.30
ハートハウス大内
脳活性リハビリ
夏祭り



9月

2025.9.1 ハートホーム山口デイケア 敬老会



2025.9.25 HMS 保健・医療・福祉サービス研究会主催
DX 推進の最先端モデル青藍会ツアー



2025.10.1 はあと保育園中央
山口ケーブルビジョン「生き物ソングで Happy」



10月



2025.10.25
ウェルネスセンター中央
RUN 伴



2025.11.13 ハートホーム山口
レディースなでしこリーグ2部昇格おめでとう会

11月



2025.11.27
阿武代表
教育功労者表彰

12月



2025.12.25
児童クラブ宮野
クリスマス会



2025.12.25 はあとカフェ山口
「野田学園合唱部クリスマス会」



2026.1.16
特別養護老人ホーム
ハートホーム中央 初詣

1月



2026.1.22
医療型児童発達支援センター
岩手県議会見学

2月

2026.2.3 はあと保育園吉敷
OYA 塾「節分イベント」



3月

2026.3.14 はあと日本語学校卒業式



飲み込みサポートチーム



老人保健施設ハートホーム山口
ハートホーム山口デイケアセンター
事業所長

青藍会飲み込みサポートチームでは、利用者様の自立支援の一環として、口から食べることを大切にしています。食事は栄養摂取だけでなく、生活の楽しみや生活の質にも大きく関わる重要な要素です。そのため、医師・看護師・言語聴覚士・管理栄養士・歯科衛生士などの多職種が連携し、安全に食べ続けることができるよう取り組んでいます。

チームの目的は大きく2つあります。1つ目は、口から食べることを可能な限り最後まで継続することです。2つ目は誤嚥性肺炎の発症を削減することです。そのため、食べられなくなる原因を多角的に検討し、嚥下機能の評価や食形態の見直しを、専門職が中心となって実施する体制として、この飲み込みサポートチームを発足しました。

1年目は主に3つの取り組みを行いました。1つ目は、お口の手帳の作成と配布です。これは利用者様の食事形態などを共有するためのツールとして作成しました。



2つ目はVE検査の実施です。嚥下機能を客観的に評価するため、内視鏡による嚥下評価を行いました。



3つ目は飲み込みサポートミーティングの実施です。多職種で情報共有を行っていきました。

昨年度の課題は、お口の手帳の普及促進です。配布数を見ると、2024年度は128冊配布しましたが、2025年度は41冊と減少しています。主に介護老人保健施設ハートホーム山口とハートホーム山口デイケアセンターを中心に配布を行っており、必要な方への配布は終了しています。その後あんしんホームの利用者様にも配布を試みましたが、個人管理が難しく、紛失が多い状況です。そのため、現在は介護老人保健施設ハートホーム山口とハートホーム山口デイケアセンターでの配布を継続しながら、施設間の情報共有や在宅移行時の情報引き継ぎツールとして活用しています。

1年目は主に吉敷支店での活動が中心でした。そこで2年目の今年度は、これまでの取り組みを各支店へ広げることが目標としました。法人全体で取り組むことで、より多くの利用者様に対して統一した支援を行うことを目指しました。

2年目は大きく2つの取り組みを行いました。1つ目は、誤嚥性肺炎の予防です。具体的には、VE検査の促進と誤嚥性肺炎対策マニュアルの作成を行いました。2つ目は言語聴覚士と管理栄養士によるミールラウンドの実施です。実際の食事場面を確認しながら、嚥下状況や食事環境の強化を行いました。

VE検査の目的は、嚥下機能を詳しく評価し、安全に経口摂取を続けるための情報を得ることです。方法としては、鼻から内視鏡を挿入して咽頭を観察し、実際に食物を摂取していただきながら嚥下の状態を評価します。これにより誤嚥の有無や嚥下機能の状態を客観的に確認することができます。

VE検査の実施件数は、2024年度は月5件でしたが2025年度は月10件まで増加しました。これは、嚥下評価の重要性が職員の中でも徐々に認識され、検査の活用が進んできた結果と考えています。また、評価用紙を活用することで嚥下機能を可視化することができました。

検査の結果として、咽頭機能自体は保たれているものの、認知症や送り込み障害の影響により誤嚥を完全に防ぐことが難しい症例がありました。また、嚥下訓練が必要な症例や経口摂取が困難と

判断され、今後の方針を検討する必要がある症例もありました。

一方で課題として、法人内施設からの検査依頼の数が少ないこと、また検査後に訓練に繋がらないケースがあることが挙げられます。今後は訪問言語聴覚士との連携を強化し、継続的な支援に繋がっていく予定です。

次に、誤嚥性肺炎対策マニュアルの作成についてです。平川支店を中心に取り組みを進めており、口腔ケアに焦点を当て、食事口腔衛生チェック表を作成し、利用者様の食事状況や口腔状態を確認しています。また、チェックを通して誤嚥リスクのある要観察者の抽出も行っています。



課題として要観察者を抽出しても、次の対応に移行する前に、利用者様の状態が変化してしまうケースがあります。また、介護度が高い方や食事介助が必要な方よりもむしろ自立して食事をしているの方が誤嚥を起こすケースが見られました。今後はチェック後の迅速な対応体制を整えるとともに、要観察者抽出基準の見直しを行っていく予定です。

次に各支店でのミールラウンドについてです。目的は、適切な栄養管理を実施することと、訪問栄養指導の対象者を把握することです。方法としては、各あんしんホームで月1回ミールラウンドを行い、評価結果をケアマネジャー、そしてあんの循環器・総合クリニックやハートクリニック南山口の管理栄養士へフィードバックしています。これにより、必要な方は訪問栄養指導に繋がっています。

ミールラウンドは主に昼食の時間帯に実施しています。言語聴覚士と管理栄養士が連携し、週3回以上ミールラウンドチェック表を用いて食事状況の評価を行っています。実際の食事場面を確認することで、食形態や食事姿勢、食事介助方法などの改善に繋がっています。



3年目は主に2つの取り組みを計画しています。1つ目は、誤嚥性肺炎予防の更なる強化です。具体的には、VE検査後のフォロー体制を強化し、誤嚥性肺炎マニュアルを各支店へ横展開していきます。2つ目は認定栄養ケア・ステーションの開設です。認定栄養ケア・ステーションは日本栄養士会が認定する管理栄養士が、地域住民や医療介護施設、企業などに対して、栄養相談や食事指導、在宅の栄養ケアなどを提供する地域の栄養支援拠点です。県内には4ヶ所の認定栄養ケア・ステーションがあり、青藍会もあんの循環器・総合クリニックで申請をしております。

1年目

2年目

3年目

・誤嚥性肺炎の予防

- ①VE検査後の対応強化
- ②誤嚥性肺炎対策マニュアルの横展開

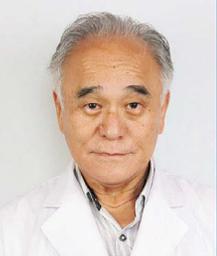
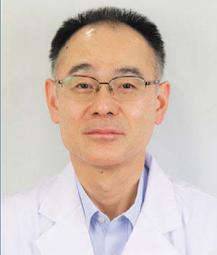
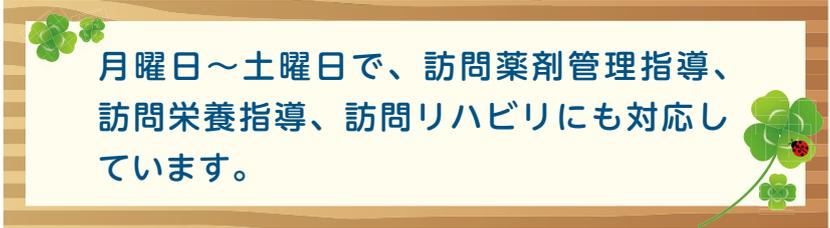
・認定栄養ケア・ステーション開設

誤嚥性肺炎予防としてVE検査後の経過観察や嚥下訓練を行うために、訪問の言語聴覚士の派遣を行います。訪問言語聴覚士との情報共有の仕組み作りも実施します。また、誤嚥性肺炎マニュアルは、看護小規模多機能型居宅介護で活用していきます。

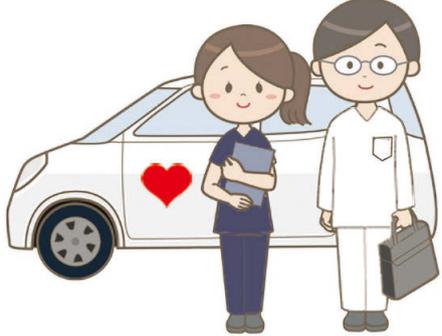
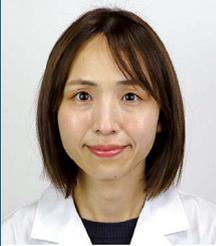
認定栄養ケア・ステーションについては、開設することで、地域における栄養情報の発信源となり、専門的な栄養支援をより広く提供できる体制を構築します。地域住民や関係機関との連携を強化し、地域全体の栄養管理の質向上に貢献していきます。

飲み込みサポートチームでは多職種が連携して、誤嚥性肺炎防止のため、嚥下評価の実施から機能の維持向上を図り、必要な栄養管理を実施した上で、最後まで口から食べるを支える支援体制を推進していきます。今後も利用者の生活の質を守るため、チーム一丸となって支援を行っていきます。

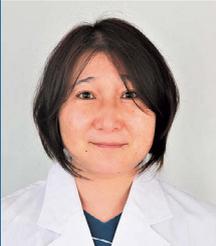
【青藍会グループ 医師紹介】
あんの循環器・総合クリニック

外来	外来	訪問	外来	訪問	外来	訪問	外来	老健
 <p>理事長 阿武 義人 日本循環器学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医 THP健康測定研修修了医 介護支援専門員 認知症サポート医 緩和ケア研修会受講修了</p>	 <p>院長 亀田 秀樹 日本脳神経外科学会専門医 日本認知症学会専門医・指導医 認知症サポート医 やまぐちPREMIUMオレンジドクター</p>	 <p>副院長 小野 史朗 日本循環器学会認定循環器専門医 日本超音波医学会超音波専門医・指導医 日本内科学会認定内科医</p>	 <p>藤谷 薫 日本外科学会認定医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定スポーツ医</p>	 <p>名西 史夫 日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会専門医 日本透析医学会専門医 日本医師会認定産業医</p>	 <p>萬納寺 洋道 日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医</p>			
外来	訪問	外来	外来	外来	外来	訪問・内科		
 <p>村田 和弘 日本リハビリテーション医学会指導医・専門医・臨床認定医 日本プライマリ・ケア連合学会指導医・家庭医療専門医 日本臨床栄養代謝学会認定医 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士 日本嚥下医学会嚥下相談医</p>	 <p>宮川 一平 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本リウマチ学会専門医 日本リウマチ学会評議員</p>	 <p>川井 元晴 元山口大学医学部教授 日本認知症学会認定専門医 日本神経学会認定神経内科専門医</p>	 <p>轟 泰幸 膠原病内科</p>	 <p>阿武 雅子 内科</p>	 <p>齋藤 雅之 内科 糖尿病内科</p>			
訪問・眼科	訪問・整形外科	訪問・皮膚科	訪問・形成外科	訪問・耳鼻科	訪問・歯科			
 <p>二宮 元 日本眼科学会眼科専門医 日本抗加齢医学会専門医</p>	 <p>横内 雅博 整形外科</p>	 <p>原口 祐子 皮膚科</p>	 <p>森下 有紀 形成外科</p>	 <p>猿渡 雄吉 耳鼻咽喉科</p>	 <p>川野 多加子 歯科</p>			
訪問・歯科	 <p>月曜日～土曜日で、訪問薬剤管理指導、訪問栄養指導、訪問リハビリにも対応しています。</p>							
 <p>藤本 勝廣 歯科</p>								

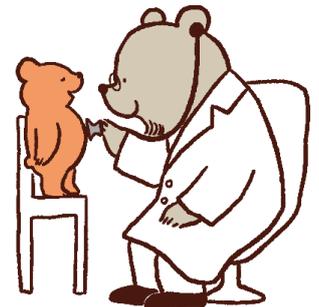
ハートクリニック南山口

外来	訪問	外来	訪問	外来	訪問	訪問・整形外科	訪問・皮膚科	訪問・眼科	
									
院長 松村 孝司 日本脳神経外科学会専門医 介護支援専門員 やまぐちPREMIUMオレシ ジドクター	福谷 敏彦 日本外科学会認定医 麻酔科標榜医 麻酔科学会認定医・専門医	鵜池 直邦 日本血液学会専門医、指導医	倉員 忠弘 日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会認定リウ マチ医 日本医師会認定産業医	馱阿 也真人 皮膚科	二宮 元 日本眼科学会眼科専門医 日本抗加齢医学会専門医				
訪問・形成外科	訪問・耳鼻科								
									
森下 有紀 形成外科	伊藤 博子 耳鼻咽喉科								

ハートこどもクリニック新山口

外来	訪問	外来	外来	外来
				
院長 向江 徳太郎 日本小児科学会小児科専門医 日本救急医学会救急科専門医	友近 喜代子 小児・発達外来	岡 桃子 日本小児科学会小児科専門医 日本小児神経学会小児神経専門医	桑原 奈津子 日本小児科学会小児科専門医	

木曜・土曜午後も
診療しています！



ご寄付・ご協力への御礼

＜寄付者のご紹介＞

株式会社日本給食業総合研究所 様、奥田商事株式会社 様、
株式会社ナリコマエンタープライズ 営業統括本部 中四国支店 様、
クレジオ・パートナーズ株式会社 様



このたびは、社会福祉法人青藍会へ温かいご寄付・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。
皆さまからお寄せいただいた寄付金は、社会福祉法人の大切な財源として、地域社会への貢献活動
をはじめ、さまざまな取り組みに有効に活用させていただきます。

ご協力いただいた皆様のお名前はハートホーム中央・ハートホーム山口玄関に「青藍会の樹」とし
て掲示しています。

今後とも、変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ご寄付に関するお問い合わせは、総務課 (T 083-933-6000) までご連絡ください。

[2026年4月 外来・訪問診療医師予定表]

		診療科	月	火	水	木	金	土	
外来	あんの循環器・総合クリニック	循環器内科	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人 小野 史朗	小野 史朗	阿武 義人	阿武 義人	
		脳神経外科 (もの忘れ外来)						亀田 秀樹	
		内科	藤谷 薫	藤谷 薫	藤谷 薫	名西 史夫	藤谷 薫	藤谷 薫 宮川 一平	
		膠原病内科					轟 泰幸		
	眼科				11:00~ 二宮 元				
	午後	循環器内科	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人 小野 史朗	阿武 義人	/	阿武 義人 小野 史朗	/	
		脳神経外科 (もの忘れ外来)			阿武 義人		亀田 秀樹		
		内科	藤谷 薫	阿武 雅子	藤谷 薫		藤谷 薫		
		整形外科			横内 雅博				
	新山口	午前	小児科	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	桑原 奈津子
		発達相談外来	友近 喜代子				岡 桃子		
	午後	小児科	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	桑原 奈津子	
発達相談外来	友近 喜代子			第1・3・5週 友近 喜代子		岡 桃子			
南山口	午前	脳神経外科 (もの忘れ外来)	松村 孝司		松村 孝司		松村 孝司	松村 孝司	
	循環器・内科	鵜池 直邦	福谷 敏彦		鵜池 直邦		山大医師		
	午後	脳神経外科 (もの忘れ外来)	松村 孝司		松村 孝司				
	循環器・内科	福谷 敏彦 鵜池 直邦	福谷 敏彦	福谷 敏彦		福谷 敏彦			
訪問	内科		亀田 秀樹	亀田 秀樹	亀田 秀樹	亀田 秀樹 藤谷 薫	亀田 秀樹 小野 史朗		
			齋藤 雅之			齋藤 雅之			
				松村 孝司		松村 孝司			
			福谷 敏彦 鵜池 直邦		福谷 敏彦 鵜池 直邦	福谷 敏彦 鵜池 直邦	福谷 敏彦	福谷 敏彦	
	眼科			第1・3・4週 二宮 元	二宮 元				
	整形外科		倉員 忠弘	横内 雅博					
	皮膚科	原口 祐子	原口 祐子	駄阿 也真人	原口 祐子	原口 祐子			
	耳鼻咽喉科	伊藤 博子			猿渡 雄吉				
	形成外科		森下 有紀	森下 有紀					
	小児科	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎	向江 徳太郎			
VE (嚙下内視鏡検査)		村田 和弘							
歯科		川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子	川野 多加子		
		藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣	藤本 勝廣		

山口本部：〒753-0813 山口市吉敷中東1-1-1

東京本部：〒157-0066 東京都世田谷区成城2-34-1 小泉ビル2F

福岡本部：〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街8-1 JRJP 博多ビル3F

医療・福祉の相談窓口
青藍会お客様サポートセンター

♥ 0120 (2) 81056

